

# 子吉川タイムラインを活用した 広報・啓発活動

平成28年2月29日

子吉川タイムライン検討会 事務局

# 子吉川タイムラインの活用について

- ◆子吉川タイムラインは各関係機関が協力して検討していますが、タイムラインは作成したところで完成ではありません。より実効性の高いタイムラインとするために、継続的な**検証・見直し**が必要です。
- ◆また、タイムラインを**沿川の住民に周知**することにより、**迅速な避難行動**に役立ててもらおうとともに、**防災意識の向上**を図ります。

## 1. タイムラインの検証・見直し

- ①**洪水時**の活用結果による効果検証
- ②**情報伝達訓練**等による効果検証

## 2. 広報・啓発活動

- ①**インターネット・広報誌**を利用した広報活動
- ②**住民説明会**等による啓発活動

# 1. タイムラインの検証・見直し

- ◆ 継続的に検証・見直しを行うことにより、現場に促したより**実効性の高い**タイムライン（＝水防体制）の構築を目指します。

## 検証方法

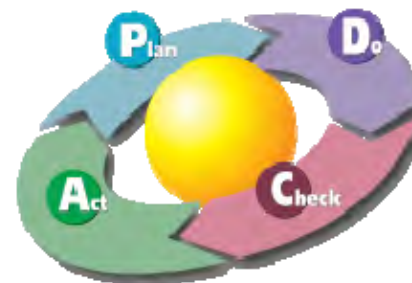
- ①洪水時の活用結果、アンケート調査 等
- ②情報伝達訓練、ロールプレイング訓練 等

※訓練は効果検証だけではなく、タイムラインの使い方を覚える、異動による担当者の交代等に対応することも目的としています。

## 検証事項

- 防災行動を実施する時刻
- 防災行動の過不足
- 収集する情報、発信する情報の過不足 等

訓練は関係機関全体で実施することで考えていますが、各機関毎に訓練を行い、タイムラインの習熟、水防体制の強化を図る方策も考えられます。



PDCAサイクル



ロールプレイング訓練の実施例

## 2. 広報・啓発活動 ① 広報活動

### ◆ 住民への周知

インターネットを活用 [タイムライン文書の掲載、関連取組のリンク設定 など]

- ・秋田河川国道事務所HPにタイムラインポータルサイト開設
- ・参加機関HPとのリンク設定

広報誌を活用

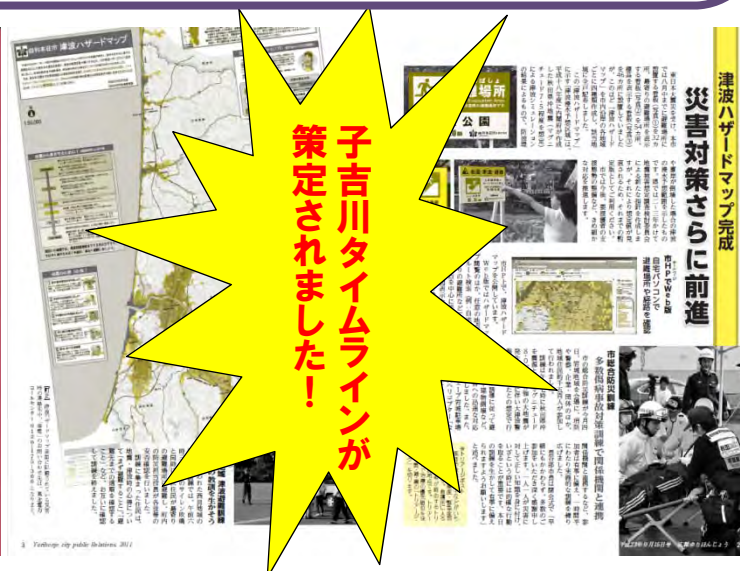
- ・タイムライン本紙の添付、タイムライン紹介記事、関連コラムなどの掲載
- ・防災担当者、被災経験者のインタビュー記事などの掲載

※現行のタイムラインは防災担当者を対象に作成されています。  
住民への広報活動を行うにあたって、より分かりやすい表現を心がけます。



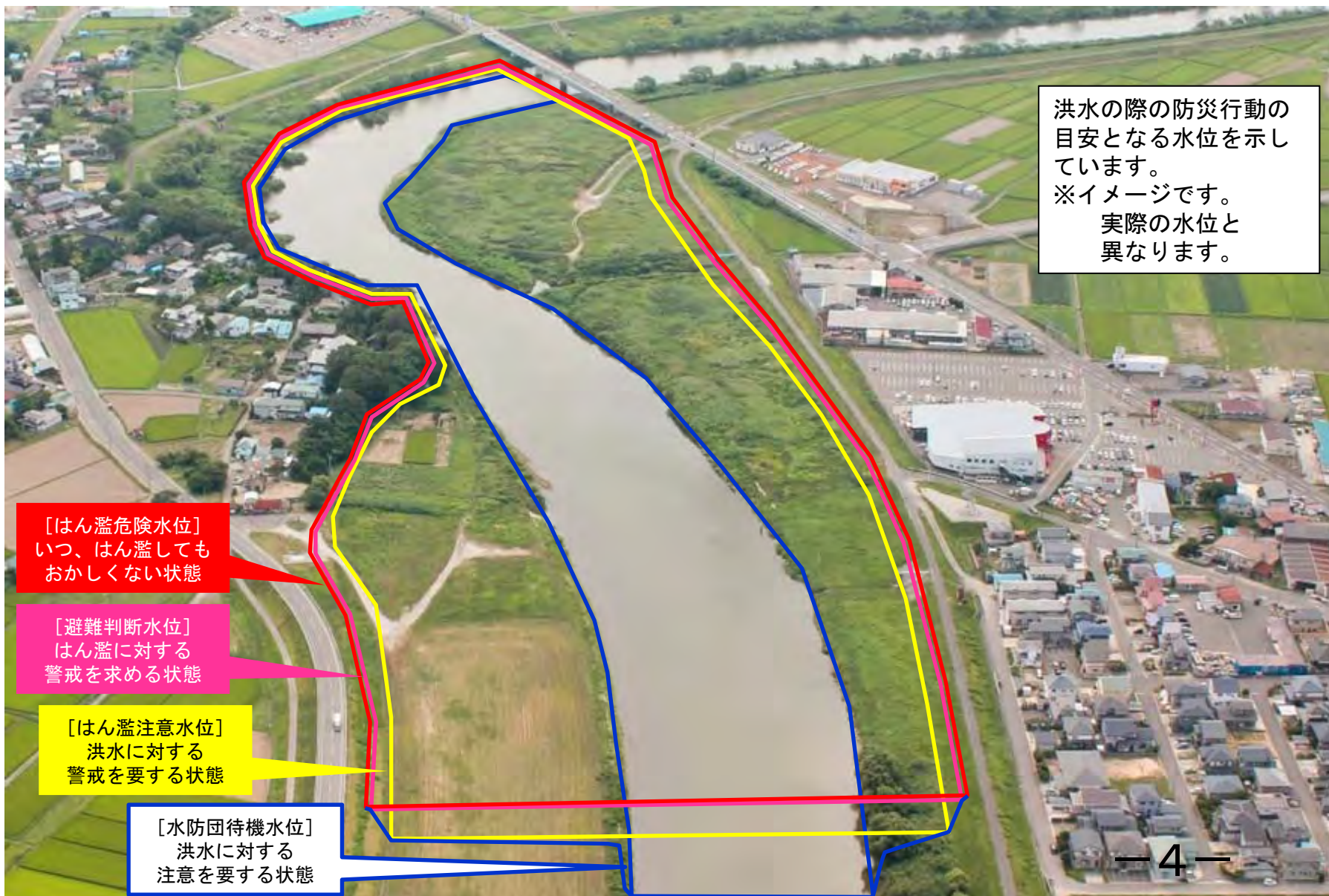
子吉川沿川住民

インターネット活用イメージ



## 2. 広報・啓発活動 ① 広報活動

### ◆ 分かりやすい表現（イメージ）



## 2. 広報・啓発活動 ②啓発活動

### ◆ 住民への啓発活動

子吉川沿川のはん濫被害を受けると想定される地域の町内会※<sup>1</sup>、自主防災組織※<sup>2</sup>等を対象に、自治体・関係機関と協働でタイムラインを活用した水防に関する啓発活動を行います。

- ・タイムライン説明会：タイムラインの活用方法（河川の水位状況と避難行動の関連、避難行動を実施するために必要な情報 等）
- ・共同点検：子吉川のはん濫が発生する危険性の高い箇所について、現地を点検避難行動の目安となる水位を現地で確認 等



説明会イメージ



共同点検イメージ

- ※<sup>1</sup> 町内会(488町会)  
本荘:133、矢島:50  
岩城:61、由利:47  
大内:48、東由利:61  
西目:12、鳥海:76
- ※<sup>2</sup> 自主防災組織数  
(423組織)  
組織化率88.7%

※由利本荘市全域の組織数です。  
はん濫被害を受けると想定  
される地域の組織数ではありません。

## 今後の予定

### ◆広報活動

秋田河川国道事務所HP タイムラインポータルサイト

3月中開設予定

### ◆情報伝達訓練、住民説明会、共同点検

子吉川の出水期(6月上旬)、台風シーズン(9月～)を目処に実施予定

詳細について、後日調整させていただきますので、  
御協力よろしくお願ひいたします。